

【令和7年10月3・6日】

学校設定科目「日本語 I」の授業で御嵩町の町づくりを考える！



10月3日(金)、1年生の学校設定科目「日本語 I」の授業(4組)に御嵩町副町長・筒井幹次様をお招きし、「乗り物」のトピックの最終活動として、名鉄広見線存続のための町づくりのアイデアを発表しました。「イベントや祭り、食べ物などで町を元気にする。御嵩町の魅力をSNSで発信する。」と

いった案に加えて、発表は「何度も来たいと思える町にしたい。誇りある町にするのは私たち一人ひとりである。」という町づくりの考え方にも及びました。そして、アニメ『鬼滅の刃』で話題になった、鬼岩公園にある「鬼の一刀岩」も紹介されました。



10月6日(月)、同じく「日本語 I」の授業(2組)に御嵩町町長・渡辺幸伸様をお招きして、4組と同様の発表を行いました。発表では多くの御嵩町の名所が紹介され、「公園をつくること。会社や工場の設立。サイクリングツアーの企画。様々な国の料理を持ち寄ったピクニックイベントの開催。翻訳したガイドブックの作成。」といったアイデアが出されました。最後に町



長様からは「御嵩町を好きになって、ぜひ訪れて体験してください。町を盛り上げるために何ができるか、みんなで考えて欲しい。」とのメッセージをいただきました。

